

発行 習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼 5-12-12
サンロード津田沼 6F 〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
http://www.nia08.com/
(Email)niasquare@m.jcnnet.jp

主な内容 CONTENTS

- ラムサール条約登録20周年記念 谷津干潟の日に参加しました
- 平成25年度事業予定が決定しました
- 25年度 NI-Youth の新たなチャレンジ

詳しい記事、およびカラー版が NIA ホームページからご覧になれます

ゲームや折り紙、楽しんでNIAをアピール

ラムサール条約登録20周年記念 谷津干潟の日に参加しました

谷津干潟は今年、ラムサール条約登録 20 周年として様々な記念事業が開催されていますが、その中の「谷津干潟の日」、6月1日2日のイベントにNIAも参加しました。4月の「谷津干潟桜まつり」に続いての参加です。

1日は好天に恵まれ、会場には一日中多くの来場者が訪れました。自然観察センターでの特別展示をはじめ、魚のさばき方や手作りブローチなどの教室、近隣高校の吹奏楽コンサート、人形劇などのアトラクション、市内、県内、さらに遠方からも参加した各種団体の展示、そして飲みもの食べもののテントが並びました。人気者チーバくんも登場、子どもたちに囲まれていました。

NIAのテント前では来場の若者や子どもたちと一緒にゲームや折り紙を楽しみ、NIAをPRしました。お得意の人集めで大活躍のHさん

や、陽気なJさんのノリノリの進行で大いに盛り上がり、周囲の注目を集めていました。果たしてNIAを覚えてもらえたでしょうか。

またこのイベントにあわせて、日本語教室部会が学習者とボランティアの親睦会を開きました。朝、谷津バラ園に集合して園内を散策した後、観察センターへ徒歩で移動、参加した学習者やボランティア 50 数名は昼食をはさんで木陰でゆったりと、普段は少ないふれあいの機会を楽しみました。参加者からは「またやりたい」という声も聞かれました。

2日も晴れ。この日は NI-Youth のメンバーが、入念に準備をした独自のゲームやクイズ、巨大折り紙などで NI-Youth をアピール。若者や外国人を積極的にリクルートしました。

青少年海外派遣事業が活動開始しました

5月19日に開催された国際交流協会(NIA)総会にて、国際交流部会が中心となって提起した「青少年海外派遣事業」が承認されました。

この事業は、習志野市の姉妹都市である米国タスカルーサ市との交流活動の拡大、及び習志野市の青少年の国際人としての素養育成を目的として発足しました。

現在タスカルーサ市高校生の受入れ事業が、NIAを主体として2年に一度行われています。一方で習志野市高校生の派遣については、市立習志野高校のみが毎年独自に実施しています。

国際交流部会は、受入れ事業の充実も図りながら、習志野市高校生の派遣の拡大をタスカルーサの意向に沿った形で発展させることはできないか、試行錯誤を重ねてきました。そして総会での承認後、6月13日開催のNIA運営会議で派遣事業実行委員会、及びその作業部会の設置が決まり、事実上の活動が開始されました。7月初旬には市内の高等学校4校(習志野、津田沼、実籾、東邦)の校長・教頭先生を始めとする担当教師との合同会議が開催される予定で、来年度実施に向けて動き出します。

派遣事業は実行委員会とともにNI-Youthの若者たちが大きく関わります。そして派遣の主役は市内の高校の通学生たち(市内在住生も対象の予定)です。

今後とも当事業へのご理解、そして若者たちへの温かい支援をお願い致します。



新メンバー獲得と外部組織との連携 25年度 NI-Youth の新たなチャレンジ

平成 25 年度の新たな事業年度を迎えて、NI-Youth では新たな飛躍に向けて活動を開始しました。今年度に入って最初に取り組んだのは、組織の強化に向けた会員の増強です。

これまでの活動状況を NI-Youth 独自のホームページで PR すると共に、習志野市内の各大学校や近隣の大学に出向いてリクルートし、またそこで興味を持った青少年にはサンロードの NIA 会議室で説明会を行いました。

また、6月1日2日に実施された谷津干潟ラムサール条約登録 20 周年記念行事には 2 つのテントに出展して、国際色豊かなジュエチャー・ゲーム等を実施して来場者を楽しませました。このブースに掲示した写真は宮本習志野市長を中心に NI-Youth メンバーが手を組んだ写真です。宮本市長も昔の NIA 青少年部会に所属されていたことから、快く写真撮影にご協力くださったのです。

このような取り組みの結果、会員

数は着実に増加しており、現在メンバーは 25 名に拡大しています。

さらに地域の若者を巻き込んだ幅広い活動にもチャレンジしようとしています。地域活動をされているロータリークラブには、社会奉仕の精神を活かした青少年が中心の活動があり、このグループをローターアクトと呼びます。習志野市内で活躍する習志野中央ローターアクトでは、先頃 2012—2013 年度の最終例会が行われましたが、これに NI-Youth 代表メンバーが参加しました。ここでは、NI-Youth のこれまでの活動を紹介するとともに、これからの取り組みではお互いに手を組んでいこうと呼びかけました。今後、両組織でコラボレーション企画を立ち上げようという機運が盛り上がっています。



宮本市長と NI-Youth メンバー



谷津干潟の日、熱心に参加を呼びかける



習志野中央ローターアクトに参加

NI-Youth に所属している、成城大学 4 年の東里将英です。去年、大学の交換留学制度を利用して、アメリカのパデュュー大学で 10 ヶ月間勉強をしてきました。

アメリカに行って印象深かったことが 3 つあります。

まず最初に驚いたことは、アメリカにはアメリカ人だけではなく、いろいろな国の人がいることでした。



ボストンの地下鉄で。左から 2 番目が本人

アメリカ留学は、授業は厳しくても 充実した 10 か月

あいざと
東里将英 (NI-Youth)

日本で暮らしていると、外国の人を見る機会がそう多くないです。けれども、アメリカには中国人、韓国人、インド人などいろいろな人がいます。僕もまさかナイジュリアの人と友達になれるとは思っていませんでした。

次に、授業に対してみんな真面目であること。日本の大学生は、授業に遅刻してきたり、中にはサボる人もいます。正直、僕もそうでした。けれどもあちらの学生はそんなことはなく、みんな真剣に授業に取り組んでいました。宿題やエッセイ、プ

レゼン、テストなども頻繁にだされ、僕も大変でした。

最後に、これはほんとに助かったのですが、お酒がとにかく安いこと。ビールもジョッキで 75 円か 100 円ぐらいです。21 才（アメリカでは 21 からお酒が飲めます）という最高のタイミングで留学ができてよかったと思います。

この留学は僕の人生で 1 番楽しくて充実した 10 ヶ月でした。語学力を伸ばすということだけではなく、日本ではできないような貴重な経験をすることができました。

平成25年度総会が 開催されました

平成25年度の総会が、5月19日(日)、サンロード6F大会議室で開催されました。新旧年度の事業報告と事業計画、予算と決算が承認され、新役員が選出されました。終了後、「会員のつどい」が開かれ、出席者は軽食と飲みもので歓談を続けていました。新年度の事業計画は前ページをご覧ください。

きらっとサンバに 参加しませんか

- 平成25年8月25日(日曜日)
- 参加希望者は事務局まで連絡を
- 公開練習が次の通り行われます。
 - ・7月6日 9:00~12:00 場所 旧習志野市役所駐車場奥の体育館
 - ・8月10日 9:00~12:00 場所 上記と同じ
 - ・8月25日サンバ祭り当日 場所 事務局の廊下付近(時間等後日連絡)

※太田先生による特別レッスンを例年通り予定しています(詳細は後日連絡)

アンケート結果報告は WebSiteで

アンケートにご協力ありがとうございました。回答はこれからのスクウェアやNIAの活動の貴重な資料となります。

スペースの関係で報告はホームページのみとなりますが、ご了承ください。内容はNIAのホームページをご覧ください。



学校で外国人児童・生徒の学習支援

外国人支援部会

外国人支援部会では、習志野市に住んでいて日常生活や役所の手続きなどで困っている外国人に、通訳による支援を行なっています。

また一方で市の教育委員会は、市立の幼稚園、小学校、中学校で、外国人や帰国子女の児童・生徒が言葉や学校生活で困っている場合に援助を行なっていますが、外国人支援部会はこれにも協力して、会員の外国人ボランティアを現在4校に派遣しています。

実際には、学校の希望により週1~2回、数時間程度、担当の教師と打合せをして、日本語や学校生活についての相談や指導を行なうなど、児童・生徒のニーズに応じた対応をしています。また状況によっては別室で個別指導することもあります。

ボランティアは、「彼ら彼女らは母国語でコミュニケーションが図れるので安心して接してくれる。子どもたちが少しでも自信をつけてくれたらうれしい。そして早く日本の学校に馴染んで、学習についていってほしい」と感想を漏らしています。

学校や保護者からも頼りにされていて、これからもこのような要望は増えると思われれます。

谷津干潟の桜まつりが 開催されました

4月6日と7日、谷津干潟自然観察センターで「桜まつり」が開かれました。

谷津干潟ではラムサール条約登録20周年を記念して各種のイベントが企画されています。

中でも8月24日(土)に予定されている「愛で包もう谷津干潟」というイベントは大きな企画です。

桜まつりのこの日も、それに向けて、子供達を含めたボランティアの人たちが、それぞれに黄色いハンカチに思いを託しそれを結び合っていました。またタスマニア島で収穫された新そば粉を使った、歯ごたえのある手打ちそばが振る舞われていました。

ラムサール条約締結のオーストラリア・ブリスベンと習志野市は、谷津干潟に飛来する渡り鳥をとおして長いお付き合いがあります。NIAと谷津干潟自然観察センターが相互の事業を協力し合うことにより、ブリスベンとの友好をより市民レベルで発展させることが出来ないか、国際交流部会では検討が進められています。



8月に干潟を包むハンカチをアピール

●メールマガジンに読者登録を

NIAのメールマガジン「メール・スクウェア」はスクウェアの電子版です。現在毎月1回、パソコンメールによる配信を行なっています。スクウェア本紙より早い情報をお届けできます。

配信をご希望のかたは下記のアドレスまでPCメールアドレスをご連絡ください。いつでも受け付けています。もちろん無料です。配信停止も自由です。ただ今のところケータイメールには対応していません。

配信希望は niasquare@m.jcnnet.jp まで

広報青年部会から

●原稿をお寄せください

スクウェアの原稿を募集しています。イベントや活動の報告、雑感、意見、提案、国際交流の体験、人物紹介などなど。情報提供だけでもかまいません。編集部で原稿にします。投稿は事務局の box または niasquare@m.jcnnet.jp へ

●「スクウェア」制作に参加しませんか

スクウェアの編集体制強化のため、スクウェア編集部員を募集しています。一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。またスクウェアにステキなイラスト/カットを描いていただけるかたも探しています。